



写真/油科康司(WPP)

Contents.1

【総力特集】

22

小径自転車

フォールディングが私生活のインパクト

これまで2回特集してきた小径車。今回は折りたたみにフォーカス。王様「プロンプトン」
「BD-1」が筆頭に上げられるが、メカ好きな人にとっては、もはやエンターテインメントの域に
達する精巧な折りたたみ機構開発では、新進の日本ブランドが目覚しく、おなじみKHSやOri
bike、Pacificは、コンパクトに折りたたむのが疑わしくなるほどエッジな走りを見せて
……その実ニッチな個性派が勢ぞろいである。小径自転車のインパクトは折りたたみにあり！

- 24 BD-1かプロンプトン、それが問題だ
- 26 フォールディングバイクの時間です
- 36 フォールディングの宝庫「KHS」
- 39 カワイイクセに走りやがる「manhattan」
- 40 名モデル復活「DAHON」
- 42 ライディングの至極「Tyrell」
- 44 メカ・ファンにWow！「5LINKS」
- 46 ユーモラス・ハイスペック「Jango」
- 48 センセーショナルに定番「Ori bike」
- 51 個性派にアピールする「Giant」
- 52 コレまた、いわゆる新型「OX engineering」
- 54 ALEX MOULTON de 乗鞍ヒルズ族
- 56 センス・オブ・ワンダー「YS-11」／「STRIDA」
- 58 常識をBeat It！「MOBIKY」／「ESR」
- 60 クラフトによる先鋭走行「Di Blasi」／「Clean Speed」
- 62 毎日がマニアック「Panasonic」／「Bridgestone」
- 64 世界をふるわせるスペック「Pacific」
- 66 知床デイズ

©WORLD PHOTO PRESS 2010

表紙イラスト:河合寛

表紙デザイン:小柳英隆

DTP:ベース

編集部より:商品は取扱説明書にしたがって正しく
 使用してください。掲載価格は消費税込の総額表示
 です。実勢価格は編集部調べの市場価格です。



写真/モノマガ男

Contents.2

82 魅力は無限大！それは進化し続ける自転車 クロスバイクワールド

ポタリングでもロングライドでも使える自転車が「クロスバイク」。どこでも快適に走れる汎用性の高さ、取り扱いのカンタンさ、そして巡航性能はピカー。クロスバイクの魅力をお余すことなくお届け!!

期間限定受注でお届け!

2 特別コラボバッグプロジェクト!

①フレドリックバックカース/バイクバックM

②犬印鞆製作所/メッセンジャートート

③犬印鞆製作所/ハリスツイード・フロントバッグ&サドルバッグ

12 ジテンシャイズム01~07

19 自転車のあるスポットをロックオン~「チャリスポ!」I~III

20 自転車モニター募集つき、読者プレゼント

74 自転車ラブな映画たち

78 連載/自転車コグ宝

104 ドキュメント/マジカルな自転車SANOMAGIC

108 特別企画/イタリアンレーサーとその周辺

114 連載/働く自転車

115 LEDランプの研究

118 新製品情報

125 WHO'S BICYCLE?

BD-1にするべきか、M3Lにするべきか、それが問題だ！

さてさて、もしあなたがタツブリの予算をお持ちの上で、折りたたみ自転車を買おうとお考えならば、候補はほとんど決まりだ。そう、あとは「r&mのBD-1にするか、ブロンプトンのM3Lにするかだけなのだ、実はここからが大問題なのだ(笑)！

ところで話はいきなり翔べけれど、このところTVで自転車テーマの番組をよく見かける。そんな時必ず登場するのが国民の自転車保有率世界一のオランダだ。グローニンゲンという都市では自転車専用道路が200kmもある

そう、うらやましい限りだ。それとヨーロッパの鉄道の多くは自転車の持込が可能だ。折りたたみでない通常の自転車

をまんま持ち込む旅人もよく見かける。本当の意味の輸送とはこんな環境を指すのだろうか、またしても感心するやら、うらやましいやら。

ヨーロッパの人々は本当に自転車が大好きらしい。阿姆斯特ダムやグローニンゲンは自転車に乗っている人たちがあふれかえり、撮影用の演出じゃあないのと疑ってしまうくらいだ。そんな時ぼくはいつも目を皿のようにして、「ヨーロッパなのだから」とモルトンやブロンプトン、そしてBD-1に乗っているヒトが映らないかなあと探してしまうのだが、かつて一度も見かけたことがない。それどころか小径車に乗っている人自体いないのだ。若者が乗っている自転車も、少しセンスのよいママチャリみただけのばかり。

しかも結構年代ものが多い。インタビューされた若い女性は「父からもらった」とサビだらけの日本なら駅前にも放置してありそうな自転車に嬉しそうに乗っていた。どうも不景気とか言いながら、本誌に登場するような素敵な自転車に乗っているのは日本人くらいのものらしい(極論過ぎる?)。「今度塗装し直そうと思うのよ」と話す女の子を見て、なぜか一人で赤面してしまった……。

わが国では自転車をまるごと持ち込んだりしたら駅員がとんできてしまうので、やはり折りたたんで専用バッグなどに収納する必要がある。むろん折りたたみ自転車は輸送のためだけでなく、自室の片隅にでも置いてしまふ便利さから求められる方も多いだろう(こちらの方が本命?)……。

さあ、いかがだろうか? BD-1でロングライドでもしてみよう? それともレトロなブロンプトンでのポタリングがいいかな? ここはデザインの好みだけで決めてしまってもいいかもしれない。キャラクターはまったく異なるのだけど(だからこそ?)どちらにするのか決断しにくいかも。折りたたみ自転車の両雄として人気を二分する存在であるを知りつつ、「そこまでは予算がないよ」という君、今回はそんな君のために、折りたたみ小径車を網羅したわけだから、さっそく次ページからのレポートでも参考にして、楽しく悩んでみて下さいな。あえて安価なバイクから、2大横綱を上回る価格のバイクまで色々並べてみた。「ヒトと同じ自転車はいや」という個性派の君なら、ここはひとつ三角(一)ストライクなどいかがだろうか? 乗っただけでまたたく間に街の人気者になってしまうこと請け合いた。

どんなかわい相棒が君の部屋の片隅に居座ることになるのか、それを決めるのは、やはり君自身なのです!

Brompton ブロンプトン M3L

伝統の国、英国が誇る究極の折りたたみ自転車ブロンプトン。「もうともブロンプトンらしいモデル」と人気の「M3L」は、カラーも4色そろい、シティーライフに合わせた選択が可能となっている。さて、ブロンプトン最大の特長といえば、なんといってもその折りたたみ機構の巧みさ、コンパクトさにある。とにかくこれほどスムーズにたためて、しかもたたんだ時の収まりのよさ(ちゃんと自立する!)は、他社の同タイプモデルの追随を許さないほど見事なものだ! 価格14万7000円
◎ミズタニ自転車 ☎03-3840-2151 www.mizutanibike.co.jp

riese und müller リーズ&ミュラー BD-1 コンパクト

「折りたためて、同時に軽快なスポーツ走行が楽しめる」小径車を志向して設計されたリーズ&ミュラーのBD-1は、いまや折りたたみ自転車の世界的スタンダードともいえる人気モデルだ。現在BD-1は「9スピード」「8スピード」「コンパクト」と3タイプが用意されているが、基本的に流麗なモノコックフレームの形状やサイズは同等だし、完成された折りたたみ構造と利きのよいフルサスペンションも共通している。「乗り心地と安全性=剛性を十分確保するため、フレームで折りたたまないことが設計で最も苦労したポイントだった」とマーカス・リーズが語るとおり、革新的な折りたたみメカニズムだ。価格14万4900円
◎ミズタニ自転車 ☎03-3840-2151
www.mizutanibike.co.jp

Profile:

たかみひろし

音楽・映像プロデューサー/ライター
プログレッシブロックに強いライターとして知られるがコアな小径車マニアとしても本誌、モノ・マガジンではおなじみ、自転車特集はもちろん、オーディオ企画にも執筆、現在は必見シネマのDVD/Blu-rayディスクをレビューする「シネマショウ」連載中。

Halfway

ジャイアント/ハーフウェイ

価格7万8750円

重さ:11.2kg 色:2色展開

自転車王国台湾が誇る創業38年に及ぶ世界最大規模の自転車メーカー、ジャイアントの小径車シリーズも、キュートな「エスケープ・ミニ」、700Cロードバイクフレーム技術を20インチに凝縮したスポーツ車「イデオム」、そして「ハーフウェイ」に「サブウェイ」と、いまいよラインナップが充実してきた！

電話ジャイアント ☎044-738-2200

www.giant.co.jp



ダブルロック機構の新型ロックレバーを解除すれば、かなりコンパクトに折りたたむ。基本的にはメインフレームを折りたたみ、ハンドルを折り下げ、シートポストを目いっぱい下げるという3段階折りたたみシステムで、女性でも楽々早くたためる。

前後輪、片持ちフォークを採用した、個性派のあなたにピッタリの粋なバイク！

ジャイアントの定番シティバイク「ハーフウェイ」がリニューアルして再登場した。片持ちフォーク、といえば、昨年、今年大ブレイクしたキャンデーのフリーガン9を思い出してしまいが、本バイクは前後輪ともに、片持ち式の、しかもフォールディングバイクだ。片持ち式を採用することによって、折りたたみサイズ（特に幅）をグッとスリム化でき、軽量化（11.2kg）も実現！

前後輪とも片持ちフォークという、走行時の安定感に不安を感じてしまうかもしれないが、そこは信頼ある大メーカー、ジャイアント、心配ご無用だ。すべての折りたたみハンドルを二重ロックし、安全性が確保された合理的な折りたたみ機構のアルミフレームが、安定走行を約束してくれる。実際に試乗してみると、片持ちなどということは忘れてしまうほどスムーズな走りに感じしてしまう。アップライト姿勢が保てるので乗り心地も最上級。ギアチェンジがスムーズに出来るグリップシフト式のシマノ製8段変速を採用した20インチモデルだから、街乗りからちょっとしたロングライドまで充分対応できる。折りたたみバイクの個性あるエントリーモデルとしてオススメしたい一台だ。



機構はメインフレームのダブルロック式、ハンドルポストのクランプ部分での折り曲げ式。文字通り、地下鉄に持ち込んだ時に威力を発揮する製品コンセプト。折りたたみ時サイズ780×480×670mm



Subway

ジャイアント/サブウェイ

価格10万5000円

重さ:13.8kg 色:1色展開

価格面とデザイン（片持ち式ではない）ではハーフウェイの上級モデルのようなのだが、コンセプトは独自だ。シマノ内装8段変速、前後ローラーブレーキ、フルカバーのチェーンガード及びマッドガードの標準装備等々、折りたたんだ状態で衣服や収納場所を汚さないことこだわったバイクなのだ。ちょっと太目の16インチタイヤを装着したフォルムがまたかわいらしい！

Giant



MIO

オリバイク/M10

価格12万9000円

重さ:10.4kg 色:3色展開

上位機種M10は、カーブした（塗装ではなくアルマイト処理された）フレームデザインがともアグレッシブで、見るからにスポーティーな走りを予感させてくれる。シマノのハイグレードコンボ105や56Tのクランクセットを採用し、高次元な走行を演出。車重もわずか10.4kgに押えられている。優れた走行性能と快適な乗り心地が両立したオススメのバイクだ。



折り紙のように見事に折りたたみ、折りたたみヒンジ部のないフレームは、剛性が常に確保できる。



自転車を除く



SURPAZ CR87

オリバイク/SURPAZ CR87

価格35万円

重さ:8.7kg 色:1色展開

オリバイクから夢のフルカーボン・フォールディングバイクが新たなフラッグシップモデルとして登場した！ M10以上に流線形を強調したデザイン（レッド&ホワイトのハンドペインティングがまたすばらしく美しい！）。そして高い剛性を誇るフルカーボンの軽量フレームとハイエンドなパーツ類の装備。CR87は、もはや小径車という次元を遥かに超えた究極のマシンだ。

折り紙のように見事に折りたたみ、折りたたみヒンジ部のないフレームは、剛性が常に確保できる。



美しい自然をフォールディングバイクで行く4日間

知床デイズ

写真と文／モノマガ男 イラスト／殿内真帆

気温21度、湿度30%。
この上なく活動しやすい6月の北海道に
2本の24インチタイヤがトレールを刻む。
ペダルを経てタイヤへ伝わる駆動力。
ハンドルを通じて前輪に与えられる操舵力。
向かうべきは、知床。

羽田へ向かうクルマの中はまだ
明けきらぬ朝だった。

北海道の玄関口とも言わべき千
歳空港へ降り立つ便は星の数ほど
あるが、たんちょう釧路空港着便
となるとほとんど自由に選べない。
6月から9月のハイシーズンでさ
え1日4便なのだ。だから朝一の
便を予約した。当然のことだ。

最初の気がかりは、実は、手荷
物として自転車を預けられるのか
であった。もちろん、前もって航空
には確認しておいたが、電話口で
は、自転車はだめだということ
はないが、一辺1メートルを超える
ものは荷物の過少なケース・バ
イ・ケース、ご相談という、どち

らともとれる内容だったのだ。共
に知床横断道路を登り知床峠を眺
める相棒は、ジャイアントのフォ
ールディングバイク「MR4」。24
インチタイヤのフォールディング
バイクとして一部で熱狂的なファ
ンをもつ名車だ。前輪を外し、ポ
トムブラケット付近の軸を中心
に後輪を180度回転させてフロ
ントフォーク間にさしはさむとい
うちょっと楽しくなりそうな折り
たたみ機構をもっているMR4に
しても、さすがにリーズ&ミュー
ラーの「BD-1」やプロンプトン程
小さくなるわけではない。当然だ。
タイヤの直径が大きいのだ。私
の知るところ、まだフォールディ
グ・ホイールは実現化されていない。
底辺からステアリングヘッドまで
1メートルびたりか、越えるか。ハ
ンドルを抜くことは不可能では
ないが、そこまでやるならどんな
自転車だってフォールディングバ
イクと言えるだろうか……。

* * *

たんちょう釧路空港で荷物受け
取りのコールを受ける。小さなこ
の空港の引渡し場所にMR4があ
った。キャリングバッグから飛び
出したハンドル部分にはエアパッ
キンが丁寧に巻かれ、空港職員は「
気をつけて、行ってらっしゃい」。

空港前に原寸大の熊親子の剥製
が立ち並ぶ。旅行者を威嚇する
ではないが、確かに、こんなに巨
きな哺乳類が本当に生存するの
かこの土地には、と思わぬで
ない。一度は見てみたい、しかし
出発前に吉村昭の「熊嵐」を読
んだ身にしてみれば、遭遇した
が最後にならぬとも限らない
ので、熊鈴が鳴りやすいよう
リュックにつける。そうそう、
まぶしいオレンジのリュックも
サイクリングパンツも前



ジャイアントMR4の詳細はP.1へ！



(上) 知床斜里の船着場。斜里町は100kmに及ぶ海岸線を持ち、さけ、ます漁が盛ん。
(右) オシロコシシ。着段は滝つぼそばまで寄れるがこの日は改修工事のため眺
めるのみ。落差80m。(下) オホーツク海に注ぐ名も無き美川……ではなく、長瀬別
川。(下左2点) オホーツク海沿岸を走るグッドロード国道334号。「道の駅」なる
「シリエトク」の人気メニュー「エゾシカバーガー」。その名の通り鹿肉のハンバー
ガーで、食感はやさしく肉に近い。疲れた身体にはより濃厚オリーブの方が効
くだろう。300円。ちなみにここより奥にコンビニは無いので、買い逃し注意。





スポーティーに使える
快速仕様のクロスバイク

S7 Ordina

オルディナ / エスセブン
もっと身近に手軽に自転車ライフを楽しめるようにと、ブリヂストンサイクルが立ち上げたブランドが「オルディナ」だ。ロード-MTBという従来のジャンル分けではなく、通勤向け小柄な女性向けなど、特性毎に細かくラインナップを揃えてくる設定が特徴。S7は空気抵抗を抑えるエアロホイール、多段変速ギアを採用したスポーツ車仕様のクロスバイク。タイヤに700×32Cを採用し、安定性にも配慮するなど使いやすさと走る楽しさを両立させた。

価格7万1800円
タイヤ/700×32C
◎ブリヂストンサイクル
●0120-72-1911
<http://www.ordina.jp>



軽量かつ耐久性に優れたアルミフレーム、空気抵抗を抑える「JALCO DXT439」エアロホイール、シマノ 3×8段ギアを採用するなど高剛性を重視したクロスバイク。タイヤはブリヂストン製の700×32C。カラーはダークブルーの他、ホワイト、グレー、レッドの4色で展開。



これを買えば間違いない!

傑作クロスバイク Best Guide

各メーカーの最新作から注目作、プレスオススめのクロスバイクまでを厳選してお届け!

ビギナーからベテランまで
幅広く対応する一台



カーボン製フォークはシクロクロスにも使われるモノを採用。軽量かつ振動吸収性に優れる。タイヤはやや細めの700×28Cを履いた高速仕様。ギアは3×8段の24段階でギアカバーも付属する。柔軟性に優れた二重構造サドルを採用、長時間の乗車でも疲れなし。

ARAYA CX ARAYA

アラヤ / シークス
いち早くクロスバイクの分野に乗り出したアラヤが、その原点を洗い直すことから生まれた。ビギナーでも直感的に使えるシンプルをスタイルは巷に最も。また、ツーリングマシンとしての機能も有しており、高剛性・巡航性は抜群。それを実現するために軽量化を追求、スリムなクロモリフレームにカーボンフォークを組み合わせた。ドロップハンドルに換装すれば、スポーツ車に早変わりするというカスタマイズ性も秀逸だ。初心者からベテランまで幅広く楽しめる究極クロスバイクのひとつ。

価格6万8250円
タイヤ/700×28C
◎新家工業 ●06-6253-6317
<http://www.araya-kk.co.jp/bicycle>

トータルバランスに優れた
エントリーモデル

7.3FX TREK

トレック / 7.3エフエックス
アメリカ発祥の総合自転車メーカー「トレック」。ロードからMTBまで幅広く手掛けており、その開発や製造は米国内で一貫しておこなわれている。そんなトレックのクロスバイクでオススメしたいのが「7.3FX」。軽量のアルミ製フレーム、握りやすいエルゴノミクスハンドル、多段ギアなどクロスバイクに初めて乗るというユーザーでも使い勝手は抜群。さらに価格的にも手頃とトータルパフォーマンスに優れたエントリー向け傑作車だ。

価格6万7000円
タイヤ/700×32C
◎トレックジャパン ●0570-064804
<http://www.trekbikes.co.jp>



軽量性と耐久性に優れたアルミフレームを採用。エルゴノミクスグリップ、幅広いサドル、チェーンギアを装備するなど使い勝手は抜群。3×8のシマノ製24段変速。タイヤは700×32Cと都市部から郊外まで幅広く快適に走れる限定。カラーは黒や青に加えて、落ち着いたマロンカラー(写真)も展開している。





スポーティーに使える
快速仕様のクロスバイク

S7 Ordina

オルディナ / エスセブン
もっと身近に手軽に自転車ライフを楽しめるようにと、ブリヂストンサイクルが立ち上げたブランドが「オルディナ」だ。ロード-MTBという従来のジャンル分けではなく、通勤向け小柄な女性向けなど、特性毎に細かくラインナップを揃えてくる設定が特徴。S7は空気抵抗を抑えるエアロホイール、多段変速ギアを採用したスポーツ車仕様のクロスバイク。タイヤに700×32Cを採用し、安定性にも配慮するなど使いやすさと走る楽しさを両立させた。

価格7万1800円
タイヤ/700×32C
◎ブリヂストンサイクル
●0120-72-1911
<http://www.ordina.jp>



軽量かつ耐久性に優れたアルミフレーム、空気抵抗を抑える「JALCO DXT439」エアロホイール、シマノ3×8段ギアを採用するなど高剛性を重視したクロスバイク。タイヤはブリヂストン製の700×32C。カラーはダークブルーの他、ホワイト、グレー、レッドの4色で展開。



これを買えば間違いない!

傑作クロスバイク Best Guide

各メーカーの最新作から注目作、プレスオススメのクロスバイクまでを厳選してお届け!

ビギナーからベテランまで
幅広く対応する一台



カーボン製フォークはシクロクロスにも使われるモノを採用。軽量かつ振動吸収性に優れる。タイヤはやや細めの700×28Cを履いた高剛仕様。ギアは3×8段の24段階でギアカバーも付属する。柔軟性に優れた二重構造サドルを採用、長時間の乗車でも疲れなし。

ARAYA CX ARAYA

アラヤ / シークス
いち早くクロスバイクの分野に乗り出したアラヤが、その原点を洗い直すことから生まれた。ビギナーでも直感的に使えるシンプルをスタイルは巷に最も。また、ツーリングマシンとしての機能も有しており、高剛性・巡航性は抜群。それを再現するために軽量化を追求、スリムなクロモリフレームにカーボンフォークを組み合わせた。ドロップハンドルに換装すれば、スポーツ車に早変わりするというカスタマイズ性も秀逸だ。初心者からベテランまで幅広く楽しめる究極クロスバイクのひとつ。

価格6万8250円
タイヤ/700×28C
◎新家工業 ●06-6253-6317
<http://www.araya-kk.co.jp/bicycle>

トータルバランスに優れた
エントリーモデル

7.3FX TREK

トレック / 7.3エフエックス
アメリカ発祥の総合自転車メーカー「トレック」。ロードからMTBまで幅広く手掛けており、その開発や製造は米国内で一貫しておこなわれている。そんなトレックのクロスバイクでオススメしたいのが「7.3FX」。軽量のアルミ製フレーム、握りやすいエルゴノミクスハンドル、多段ギアなどクロスバイクに初めて乗るというユーザーでも使い勝手は抜群。さらに価格的にも手頃とトータルパフォーマンスに優れたエントリー向け傑作車だ。

価格6万7000円
タイヤ/700×32C
◎トレックジャパン ●0570-064804
<http://www.trekbikes.co.jp>



軽量性と耐久性に優れたアルミフレームを採用。エルゴノミクスグリップ、幅広いサドル、チェーンギアを装備するなど使い勝手は抜群。3×8のシマノ製24段変速。タイヤは700×32Cと都市部から郊外まで幅広く快適に走れる限定。カラーは黒や青に加えて、落ち着いたマロンカラー(写真)も展開している。



Editor&Publisher

今井朝春
Kasaharu Imai

Editorial Supervisor

前田賢紀
Takanori Maeda

Managing Editor

本田賢一朗
Kenichiro Honda

Editor

小川太市
Taichi Ogawa

Designer

小柳英隆 (富伝舎)
Hidetaka Koyanagi

JL.G
JL.G

Copernix
Copernix

Photographer

熊谷義久 (WPP)
Yoshihisa Kumagai

油科康司 (WPP)
Yasuji Yushina

鶴田智昭 (WPP)
Tomoaki Tsuruda

青木健裕 (WPP)
Takenori Aoki

宮坂政邦 (WPP)
Masakuni Miyasaka

Advertising Director

坪井一雄
Kazuo Tsuboi

Production Director

小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP

Base

Correspondents, Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)

Norman T. Hatch

Mikako Burks

<http://www.monomagazine.com>

NEXT

次号予告

2011年4月上旬発売予定

monOSTYLE

ジテンシャ NO.4

特集

はじめての 本格自転車 (ゼツタイ) 見つかる特集!



ママのお下がりがじゃなくて、「安いから買った」じゃない。MY LOVELY BICYCLEを見つけよう。サイクリングのベストシーズンとも言うべき春は自転車選びにも絶好。ミニベロ、クロスバイク、MTB、ランドナーからユニーク自転車まで、自分の個性に合った自転車がきっと見つかる大特集です。あの自転車好き著名人による「はじめての自転車選び大指南」や「大推薦ショップガイド」他、オモシロ企画満載でお待ちしています。

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

WORLD BOOK

ワールド・ムック845
平成22年11月20日発行(通巻845号)

monOSTYLE NO.3

ジテンシャ

編集・発行人 ●今井朝春

発行所 ●株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

TEL: 03(5385)5966 [編集部]

03(5385)1350 [広告営業部]

03(5385)5701 [販売部]

FAX: 03(5385)5617 [編集部]

03(5385)1348 [広告営業部]

03(5385)5703 [販売部]

印刷所 ●大日本印刷株式会社

ウェブでも会いましょう!

ワールドフォトプレス ホームページ

<http://www.monomagazine.com>

モノ・マガジン・ウェブショップ

<http://www.monoshop.co.jp>

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。
●文中の価格はすべて消費税込みの総額表示です。